

島尻内閣府特命担当大臣（科学技術政策）談話

本日、理化学研究所の森田博士を代表とする研究グループが提案した113番元素の元素名案と元素記号案が、国際純正・応用化学連合（IUPAC）の国際的なパブリックレビューのプロセスに入ったとの発表がありました。

今回の手続は、日本の科学の成果として欧米以外により初めて命名されるという歴史的意義を持つものです。パブリックレビューを経て正式に名称等が決定されることを待ちたいと思います。

先日、113番元素を発見した研究施設を視察しましたが、改めて研究グループの皆様に敬意を表します。

日本発の元素が化学の周期表に掲載されることを通じ、子供たちの科学への関心を高め、また、世界の若者が、日本に親しみを感じる機会になればと願います。

理化学研究所には、本年の通常国会で成立した法律を通じて、更なる飛躍を期待しています。政府としても、引き続き、科学技術イノベーション政策に全力で取り組んでまいります。

平成28年6月8日

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）

島尻 安伊子